

施策番号	1341		
施策名	歩く魅力のあるまちづくり		
概要	まちの美化、自然・歴史的な景観の保全、市街地の町並み整備、道路のバリアフリー化に取り組み、安全快適で歩く魅力のあるまちづくりを推進する。		
担当局	建設局	共管局	都市計画局
上位政策	134 歩いて楽しいまちをつくる		

施策の評価

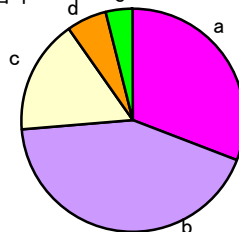
1 客観指標評価

		19年度	20年度	21年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1	歩道の整備延長(m)	d	d	1651	2125	2125	100.0%	a	
2	放置自転車の台数(台)	b	d	7282	7896	5971	67.8%	d	
3	(準)道路のバリアフリー化計画の実施済地区数(地区)	a	a	1 1	1 4	3地区増	100.0%	a	
4	バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合(%)	b	a	53.2	53.2	53.2	100.0%	a	
5	景観重要建造物件数(件)	a	d	26	26	47	55.3%	e	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	c	客観指標総合評価					b

2 市民生活実感評価

設問	京都市は、まちの美しさや賑わいなどにより、歩いて楽しいまちである。					
回答	19		20		21	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a:そう思う	136	28.3%	224	29.7%	190	30.7%
b:どちらかというと思う	175	36.4%	296	39.3%	266	43.0%
c:どちらとも言えない	93	19.3%	145	19.3%	103	16.6%
d:どちらかというと思わない	43	8.9%	59	7.8%	36	5.8%
e:そう思わない	34	7.1%	29	3.9%	24	3.9%
有効回答数	481		753		619	
市民生活実感評価	b		a		a	

21回答率



- a:そう思う
- b:どちらかというと思う
- c:どちらとも言えない
- d:どちらかというと思わない
- e:そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	19	20	21
客観指標総合評価	b	c	b
市民生活実感評価	b	a	a
総合評価	B	B	A
重み付け	(理由)		
☐ 客観指標 ☒ 市民の実感	この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価，市民生活実感評価，事務事業評価の結果等を踏まえて記入

- ・総合評価は、昨年度のB評価から向上し、A評価となった。
- ・これは客観指標総合評価が、c評価からb評価に上ったことによるもので、「歩道の整備延長」が過去5年間の最高値になり、d評価からa評価になったことが大きな理由である。また、本市では、歩いて楽しい「歩くまち・京都」の実現を目指し、「まちのバリアフリー化の推進」などの地道な取組を進めてきた結果、市民の生活実感は引き続き、a評価となっている。
- ・今後とも、安全・快適に歩くことができる環境を維持するため、取組を推進していく。

（参考）この施策を実現するための事務事業

	事業名	20年度予算 (千円)*	21年度予算 (千円)*	20年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
(従)	1 公衆便所整備	18,114	37,014	現状のまま継続	環境局
(従)	2 快適トイレのモデル導入	29,204	19,998	縮小等による見直し	環境局
(従)	3 「世界一美しいまち・京都」の推進	62,448	55,773	現状のまま継続	環境局
(従)	4 風致地区規制指導事務	94,407	93,558	効率化等による見直し	都市計画局
(従)	5 違法開発監察事務	40,124	40,080	効率化等による見直し	都市計画局
(従)	6 自然風景保全地区規制指導事務	12,223	12,130	効率化等による見直し	都市計画局
(従)	7 北白川丸山町緑地整備	667,104	119,823	現状のまま継続	都市計画局
	8 交通施設バリアフリー化設備整備費補助	125,908	107,768	現状のまま継続	都市計画局
	9 交通バリアフリー基本構想策定業務	30,925	0	終了	都市計画局
	10 電線類地中化	1,582,819	1,014,909	現状のまま継続	建設局
	11 交通安全施設等整備	1,435,352	1,129,852	現状のまま継続	建設局
	12 看板等路上物件適正化事業	58,319	57,327	現状のまま継続	建設局
	13 通行支障柱移設	92,846	92,846	現状のまま継続	建設局
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計	4,249,794	2,781,078		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	3,326,169 (923,625)	2,402,702 (378,376)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1341	歩く魅力のあるまちづくり										
指標名	歩道の整備延長 (m)											
担当課	道路環境整備課		連絡先	2 2 2 - 3 5 7 0								
1 指標の説明												
重点整備地区における歩道補修及び交通安全施設整備事業の歩道整備の延長												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
だれもが安全で安心して活動し社会参加できるよう、安全で快適に歩けるバリアフリーな歩行空間の整備が進んでいるかを示す指標			重点整備地区における歩道補修及び交通安全施設整備事業の歩道整備の延長									
4 数値												
	前回数値	最新数値	推移	目標値								
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度						
数値	1651	2125	474m増	2125	過去5年間の最高値	100.0%						
	全国順位	中長期目標			備考							
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値	-	-	-	-			-					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去5年間の上中間と平均値の間 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値）の間 e：過去5年間の下中間以下			事業費は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値 2125（平成20年度） 平均値 1562 最低値 870（平成17年度）		<table><tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr><tr><td>d</td><td>d</td><td>a</td></tr></table>		19	20	21	d	d	a
19	20	21										
d	d	a										

指標名	放置自転車の台数（台）											
担当課	自転車政策課		連絡先	2 2 2 - 3 5 6 5								
1 指標の説明												
京都市内の鉄道駅周辺における放置自転車の台数（調査実施2年ごと）												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
市内に放置自転車がどのくらいあるかを示す指標			事業担当課において調査・集計									
4 数値												
	前回数値	最新数値	推移	目標値								
	17年度	19年度		数値	根拠	達成度						
数値	7282	7896	約8%増加	5971	過去最高の減少率を基準として、前年度数値×18%減を設定	67.8%						
	全国順位	中長期目標			備考	-						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値	-	-	-	-			-					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
単年度目標値における達成度が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：70%以上90%未満 d：50%以上70%未満 e：50%未満			放置台数は減少に向かうことが望ましいため、過去最高の減少率を基に100%以上の達成率をaとし、以下評価基準を設定した。 （参考） 過去最高の減少は平成11年度から平成13年度への減少率17.5%		<table><tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr><tr><td>b</td><td>d</td><td>d</td></tr></table>		19	20	21	b	d	d
19	20	21										
b	d	d										

施策名	1341	歩く魅力のあるまちづくり																													
指標名	(準) 道路のバリアフリー化計画の実施済地区数 (地区)																														
担当課	道路計画課	連絡先	2 2 2 - 3 5 8 0																												
1 指標の説明 今後の面的にバリアフリー化すべき地区を選定した「京都市バリアフリー全体構想」に基づく14の重点整備地区での道路特定事業計画が策定された地区数																															
2 指標の意味 幅の広い歩道の整備や、段差や傾斜・勾配を解消し、すべての人々が安全で快適に歩けるバリアフリーな歩行空間の整備に向けた進捗状況を示す指標		3 算出方法・出典等 計画地区数÷「京都市バリアフリー全体構想」で策定された14の重点整備地区																													
4 数値 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>前回数値 19年度</th> <th>最新数値 20年度</th> <th>推移</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>3地区増</td> <td>3地区増</td> <td>14か所の地区について20年度ですべて策定 達成度 100.0%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全国順位</th> <th colspan="3">中長期目標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>数値</th> <th>目標年次</th> <th>達成度</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>20年度</td> <td>100.0%</td> <td>平成20年度末で合計14地区実施済</td> </tr> </table>						前回数値 19年度	最新数値 20年度	推移	目標値		数値	11	14	3地区増	3地区増	14か所の地区について20年度ですべて策定 達成度 100.0%		全国順位	中長期目標			備考	数値	目標年次	達成度	数値	—	14	20年度	100.0%	平成20年度末で合計14地区実施済
	前回数値 19年度	最新数値 20年度	推移	目標値																											
数値	11	14	3地区増	3地区増	14か所の地区について20年度ですべて策定 達成度 100.0%																										
	全国順位	中長期目標			備考																										
		数値	目標年次	達成度																											
数値	—	14	20年度	100.0%	平成20年度末で合計14地区実施済																										
5 評価基準 単年度目標に対する達成度が a : 100%以上 b : 80%以上100%未満 c : 60%以上80%未満 d : 40%以上60%未満 e : 40%未満		6 基準説明 目標達成には相当の努力を要するものの、不可能ではないため、100%以上の達成をaとし基準を設定した。			7 評価結果 <table border="1"> <tr> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>	19	20	21	a	a	a																				
19	20	21																													
a	a	a																													

指標名	バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合 (%)																														
担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3																												
1 指標の説明 平成14年に策定された「京都市交通バリアフリー全体構想」で選定した14の重点整備地区及び重点整備地区選定の対象となった地区において、バリアフリー化が必要とされる旅客施設のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手した施設の割合																															
2 指標の意味 すべての人にやさしい駅として、バリアフリー化される施設整備の進ちょく状況を示す指標		3 算出方法・出典等 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数÷対象旅客施設数×100																													
4 数値 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>前回数値 19年度</th> <th>最新数値 20年度</th> <th>推移</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>53.2</td> <td>53.2</td> <td>増減なし</td> <td>53.2</td> <td>対象となる旅客施設(47)のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手する旅客施設(25)の割合 達成度 100.0%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全国順位</th> <th colspan="3">中長期目標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>数値</th> <th>目標年次</th> <th>達成度</th> </tr> <tr> <td>数値</td> <td>—</td> <td>53.2</td> <td>22年</td> <td>100.0%</td> <td>整備対象地区数 14地区</td> </tr> </table>						前回数値 19年度	最新数値 20年度	推移	目標値		数値	53.2	53.2	増減なし	53.2	対象となる旅客施設(47)のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手する旅客施設(25)の割合 達成度 100.0%		全国順位	中長期目標			備考	数値	目標年次	達成度	数値	—	53.2	22年	100.0%	整備対象地区数 14地区
	前回数値 19年度	最新数値 20年度	推移	目標値																											
数値	53.2	53.2	増減なし	53.2	対象となる旅客施設(47)のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手する旅客施設(25)の割合 達成度 100.0%																										
	全国順位	中長期目標			備考																										
		数値	目標年次	達成度																											
数値	—	53.2	22年	100.0%	整備対象地区数 14地区																										
5 評価基準 地区移動円滑化基本構想策定着手割合が a : 53%以上 b : 40%以上53%未満 c : 30%以上40%未満 d : 20%以上30%未満 e : 20%未満		6 基準説明 母数となる旅客施設のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手する旅客施設が占める割合(53%)をaとし、以下10%単位で基準設定した。 平成17年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 17、対象施設数 47 平成18年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 21、対象施設数 47 平成19年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 25、対象施設数 47 平成20年度 地区移動円滑化基本構想策定着手施設数 25、対象施設数 47			7 評価結果 <table border="1"> <tr> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>	19	20	21	b	a	a																				
19	20	21																													
b	a	a																													

施策名	1341	歩く魅力のあるまちづくり					
指標名	景観重要建造物件数（件）						
担当課	景観政策課		連絡先	2 2 2 - 3 3 9 7			
1 指標の説明							
京町家をはじめとする地域の景観のシンボリックな役割を果たしている建築物等の数							
2 指標の意味							
地域の景観の維持及び向上に資する建物の状況を示す指標							
3 算出方法・出典等							
建造物の総合計 出典：事業担当課調査							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度	
数値	26	26	増減なし	47	前回数値(26)＋中長期目標を達成するための単年度増加件数(21)	55.3%	
	全国順位	中長期目標			備考	中長期目標は目安値として設定。景観重要建造物件数の増加等を図るため、景観形成総合支援事業の制度拡充を国に要望している。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	全国1位	108	平成23年	24.0%			歴史的意匠建造物件数
5 評価基準							
単年度目標値に対する達成度が a:90%以上 b:80%以上90%未満 c:70%以上80%未満 d:60%以上 e:60%未満							
6 基準説明							
前回数値に、中長期目標を達成するために必要な単年度増加件数を加えた数値を単年度目標値として設定し、目標値に対する90%以上の達成度をa評価とし、10%刻みで基準を設定した。							
7 評価結果							
19	20	21					
a	d	e					